

56 番の歌 真理を生き方にする

「十分に成長する」ことを目指しましょう

「十分に成長するように努力しましょう」。[ヘブライ 6:1](#)

ポイント：どうすればクリスチャンとして成長し、エホバに喜ばれる考え方や決定ができるようになるかを考えます。

1. エホバは私たちがどうすることを望んでいますか。

赤ちゃんが生まれると、親はとても幸せな気持ちになります。でもかわいいからといって、ずっと赤ちゃんのままでいてほしいとは思わないはずです。あまり成長していないように思えるなら、とても心配になるでしょう。エホバも同じです。私たちが一步踏み出してイエスの弟子になる時、エホバはとても喜びます。でもいつまでもクリスチャンとして子供のままでいるのではなく、「大人になって」ほしいと思っています。（[コリー 3:1](#) 兄弟たち、私は皆さんに、聖なる力に導かれる人に対するようには話せませんでした。かえって、罪深い考え方をする人、幼児のようなクリスチャンに対するよう話をしました；[14:20](#) 兄弟たち、理解力の点で、幼い子供になってはなりません。悪に関しては幼い子供になり、理解力の点では大人になってください）

2. この記事ではどんな点を考えますか。

2 ①クリスチャンとして大人になるとはどういうことでしょうか。②成長するためにどんなことができるでしょうか。③聖書の深い真理を理解することはどのように助けになるでしょうか。④自己過信に注意すべきなのはどうしてでしょうか。この記事ではこうした点を考えます。

クリスチャンとして大人になるとはどういうことか

3. ク里斯チャンとして大人になるとはどういう意味ですか。

3 聖書で「大人になる」と訳されているギリシャ語には「十分に成長した」とか「完全な」という意味もあります。*ヘブライ語聖書に「十分に成長した」とか「十分に成長していない」といった表現は出てきませんが、それと同じ考えを伝えるものもあります。例えば、「格言の書」では、若くて経験のない人と賢くて理解力のある人が対比されています。（[格 1:4, 5](#) 経験のない人を聰明にし、若者に知識と思考力を与えるためのもの）⁵ 賢い人は聞いてさらに教えを受け、理解力のある人は的確な導きを得る）（[コリー 2:6](#) 私たちはクリスチャンとして十分に成長した人たちの中で知恵について語ります。といっても、今の体制(*時代)の知恵でも、今の体制の支配者たちの知恵でもありません。こうした支配者たちは存在しなくなります）赤ちゃんが大人になるまで成長を続けるのと同じように、私たちもクリスチャンとして成長していく必要があります。この成長に終わりはありません。（[テモ一 4:15](#) これらのことについてよく考え(*黙想し)、打ち込みなさい。そうす

れば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう) 若い人を含め、全ての人がクリスチャンとして大人になることができます。では、自分が成長しているかどうかはどうすれば分かるでしょうか

4. 成長したクリスチャンとはどんな人ですか。

4 成長したクリスチャンは、より好みをしたりせず、エホバが求めていることを全てその通りに行います。もちろん、完璧ではないので失敗することもあります。それでも、毎日の生活の中でエホバに喜ばれる考え方や行動ができるようにベストを尽くします。新しい人格を身に着け、エホバと同じような考え方をするように努力を続けます。 (エフェ 4:22-24 皆さんは、古い人格を脱ぎ捨てるようにと教えられました。その人格は、以前の生き方に基づくもので、悪い欲望に引きずられて腐敗していきます。 23 考え方(*精神的傾向)を新しくする努力を続けましょう。 24 そして、新しい人格を身に着けましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づいています) エホバの教えや基準を調べ、よく考えて決定するので、何をするにも細かなルールが必要ということはありません。そして一度決めたなら、強い意志を持ってそれに取り組みます。 (ヨリ一 9:26, 27 それで私は、どこに向かっているか分からぬような走り方をしてはいません。空振りになるようなこぶしの振るい方もしてはいません。 27 自分の体を打ちたたき(*処罰し/厳しく訓練し), 奴隸にして従わせます。人々に伝道しておきながら、私自身が何かのことで退けられない(*失格にならない)ためです)

5. 十分に成長していないクリスチャンにはどんな危険がありますか。 (エフェソス 4:14, 15)

5 一方、十分に成長していないクリスチャンは容易に「欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたり」、陰謀論を広める人や背教者にだまされたりしてしまいます。*jw.org か JW Library® で「間違った情報に気を付ける(デマ/フェイクニュース/陰謀論)」という記事を参照。 (ライブラリー > シリーズ記事 > ほかのトピック) (エフェソス 4:14, 15 ですから、私たちはもう子供であってはならず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまな教えに振り回されたりしてはなりません。人に欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです。 15 真理を語り、愛によって、頭であるキリストを目指して全ての点で成長していきましょうを読む。) また、嫉妬したり、争いを起こしたり、すぐに腹を立てたり、誘惑に負けたりしてしまうこともあります。 (ヨリ一 3:3 皆さんはまだ罪深い考え方をしています。嫉妬や争いがあることからすると、そうではないでしょうか。世の人々と同じように振る舞っているではありませんか)

6. クリスチャンとして成長することをどんな例えで考えられますか。 (写真と挿絵も参照。)

6 先ほど考えた通り、クリスチャンとして成長することは子供が大人になることに似ています。子供は洞察力がないので、大人に見守ってもらう必要があります。例えて考えてみましょう。母親は道路を渡る時に、幼い娘に手をつないでおくようにと言うかもしれません。娘が少し大きくなれば、母親は娘が1人で道路を渡ることを許すかもしれません、右左をよく見てから渡るようにと毎回注意するでしょう。そして大人になれば、親から言われなくても自分でこうした危険を避けられるようになります。幼い子供が親から注意してもらう必要があるのと同じで、十分に成長していないクリスチャンは、エホバとの絆を弱めるようなものを避けたり良い決定をしたり

するために、成長したクリスチャンに助けてもらう必要があります。一方、成長したクリスチャンは聖書を調べてエホバの考えを理解し、それに合わせて行動することができます。



クリスチャンとして十分に成長するためには、どうすれば聖書の基準に沿った良い決定ができるかを学ぶ必要がある。

(6節を参照。)

7. 成長したクリスチャンもほかの人の助けを必要としますか。

7 成長したクリスチャンはほかの人の助けを全く必要としないということでしょうか。いいえ、必要とすることもあります。でも、十分に成長していないクリスチャンとは違って、自分で決めなければいけないことまでほかの人に決めてもらおうとしたり、どうしたらいいか教えてもらおうとしたりはしません。ほかの人の経験を聞いて学びますが、「自分の荷を自分で負う」必要があることをよく理解しています。 (ガラ 6:5 人はそれぞれ、自分の荷(*責任)を自分で負うのです)

8. 成長したクリスチャンがみんな同じようになるわけではありません。どうしてそういえますか。

8 大人になれば、みんなが同じような見た目になるわけではありません。それと同じで、成長したクリスチャンの中には、知恵や勇気に優れている人もいれば、気前よく与える人や思いやり深い人もいます。また、成長したクリスチャンは聖書の基準に沿った決定をしますが、みんなが同じ決定をするというわけではありません。良心に基づいて決める場合は特にそうです。このことをよく理解しているので、ほかの人のことを批判したりせずに、一致してエホバに仕えることができます。 (ロマ 14:10 それなのに、あなたはなぜ兄弟を批判するのですか。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになります。コリー 1:10 兄弟たち、私たちの主イエス・キリストの名によつて勧めます。皆さんのが語る事柄は一致しているべきです。分裂があつてはなりません。同じ思い、同じ考え方でしっかりと団結してください)

どうすれば成長したクリスチャンになれるか

9. ただ時間がたてばクリスチャンとして成長できますか。

9 子供は時間がたてば成長していくのですが、クリスチャンとしての成長はそうはいきません。コリントの兄弟姉妹は良い知らせを信じるようになり、バプテスマを受けました。そして聖なる力を受け、使徒パウロからじかに教えてもらうという経験もしました。 (使徒 18:8-11 また、会堂の役員クリスボが家人全員と一緒に主の信者となった。そして、良い知らせを聞いたコリントの多くの人が、信じてバプテスマを受けるようになった。9 その上、ある夜、主イエスが幻の中でパウロに言った。「恐れないで、語り続けなさい。黙っていてはなりません。10 私はあなたと共におり、誰もあなたを襲って危害を加えたりはしませ

ん。この町には私の民が大勢います」。11 こうしてパウロはそこに1年6ヶ月滞在し、神の言葉を教えた) でも、バプテスマから数年たっても多くの人は十分に成長していませんでした。 (コリー 3:2 そして、固い食物(*よくかんで食べる物)ではなく乳を与えました。皆さんがまだ十分に強くなかったからです。今でも、十分に強くなっています) では、私たちはどうすればそうならないで済むでしょうか。

10. クリスチャンとして大人になるためには何をする必要がありますか。 (ユダ 20)

10 ク里斯チャンとして大人になるためには、そうなりたいという気持ちをまず育てる必要があります。 「経験のなさを好む」人は、クリスチャンとして子供のままでいる方がいいと考え、成長しようとしません。 (格 1:22 経験のない人よ、いつまで経験のなさを好むのか。あざける人よ、いつまであざけりを楽しむのか。愚かな人よ、いつまで知識を憎むのか) でも私たちは、見た目は大人なのに親がいないと何も決められない人のようになりたいとは思わないはずです。自分のことには自分で責任を持ち、エホバとの絆を強めていきたいと思うことでしょう。 (ユダ 20 しかし、愛する皆さんは、極めて聖なる信仰によって自分を力づけ、神の聖なる力(*)に導かれつつ祈ってくださいを読む。) ク里斯チャンとして大人になることを目指しているなら、「行動するための意欲と力の両方を」求めてエホバに祈ってください。 (フィリ 2:13 神はご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてくださるのです)

11. エホバは私たちが大人のクリスチャンになれるよう、どのように助けてくれていますか。 (エフェソス 4:11-13)

11 エホバは、私たちが自分の力だけでクリスチャンとして十分に成長することを期待してはいません。私たちは会衆の牧者、また教える人に助けてもらうことによって「十分に成長した人となり、キリストの背丈に達する」ことができます。 (エフェソス 4:11-13 そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者(*良い知らせを伝える人)、ある人を牧者また教える人として与えました。 12 その人たちは聖なる人たちを正し(*訓練し)、奉仕し、キリストの体を力づけ(*建て)ます。 13 そのおかげで私たちは皆、信仰の一致と、神の子についての正確な知識の一致に達し、十分に成長した人(*大人)となり、キリストの背丈(*域)に達するようになりますを読む。) また、エホバの聖なる力の助けを得るなら、「キリストと同じ考え方」ができます。 (コリー 2:14-16 しかし、罪深い欲望に従う人は、神の聖なる力による事柄を受け入れません。その人にとっては愚かなことだからです。実際、その人はそうした事柄を知ることができません。それを調べるには聖なる力が必要だからです。 15 一方、聖なる力に導かれる人は全ての事柄を調べます。そして、その人自身はどんな人からも調べられません。 16 「エホバ(*)の考えを知るようになって、その方を教えられる人などいるでしょうか」。とはいって、私たちはキリストの考えを知って(*と同じ考え方をして)います、脚注) さらに、エホバが4福音書を記録してくださったので、人間として生きたイエスの考え方や話し方、行動について学ぶことができます。その手本に倣うなら、大人のクリスチャンになれます。

聖書の深い真理を理解する

12. 「キリストに関する初步の教理」とは何ですか。

12 クリストンとして成長するためには、「キリストに関する初步の教理より先に進」む必要があります。この初歩の教理には、悔い改め、信仰、バプテスマ、復活についての教えが含まれています。 (ヘブ 6:1, 2) それで、私たちはキリストに関する初歩の教理より先に進んだのですから、十分に成長するように努力しましょう。基礎的な教えに逆戻りしては(d*再び土台を据えては)なりません。すなわち、むなしい(d*死んでいる)行いを悔い改めること、神への信仰、2 さまざまなバプテスマ(*), 手を置くこと、死者の復活、永遠の裁きについての教えです) これはクリストンにとって土台となる教えです。それでペテロは、ペンテコステの時にこうしたもののがいくつかについて話しました。 (使徒 2:32-35) 神はこのイエスを復活させました。私たちは皆そのことの証人です。33 それで、この方は天に昇って神の右に座り(if*神の右手によって天に昇り), 約束の聖なる力を天の父から受けたので、それを注ぎました。その聖なる力の働きをあなた方は見聞きしているのです。34 ダビデは天に昇りませんでしたが、こう言っています。『エホバは私の主に言った。「私の右に座つていなさい。35 私があなたの敵たちをあなたの足台として置くまで』』, 38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます) キリストの弟子になるためには、初歩の教理を信じて受け入れる必要があります。パウロは、復活の教えを否定するならクリストンとしての信仰全体を否定することになる、と警告しました。 (コリ一 15:12-14) では、キリストは生き返らされたと私たちが伝道しているのに、皆さんの中に、死者の復活などないと言う人がいるのはどうしてですか。13 死者の復活がないのであれば、キリストも生き返らされなかつたことになります。14 そして、キリストが生き返らされなかつたとすれば、私たちの伝道は全く無駄になり、皆さんの信仰も無駄になります) とはいえ、こうした基本的な知識だけで満足していいではありません。

13. 「固い食物」を取り入れるとはどういうことですか。 (ヘブライ 5:14) (写真も参照。)

13 初歩の教理だけでなく、「固い食物」を取り入れるように努力しましょう。エホバのおきてだけでなく、聖書のさまざまな記述を学び、じっくり考え、自分の生活に当てはめることが大切です。そのようにしてエホバの気持ちや考え方を理解するなら、エホバに喜ばれる決定を下せるようになるでしょう。*この号の「調べてみよう(創世記 25 章 29-34 節を読みましょう。エサウとヤコブは賢い決定をしたでしょうか。)」を参照。 (ヘブライ 5:14) 一方、固い食物(*よくかんで食べる物)は、十分に成長した人(*大人)のためのものです。そのような人は、使うことによって識別力(*知覚力)を訓練したので、正しいことも悪いことも見分けることができますを読む。)



聖書の深い真理を理解するなら、エホバに喜ばれる決定ができる。 (13 節を参照。)

*写真や挿絵: 兄弟が聖書の教えをよく調べて、エホバに喜ばれるものを選んでいる。

14. パウロはコリントのクリストンをどのように助けましたか。

14 クリスチャンとして十分に成長していない人は、聖書からエホバの考えを読み取って自分の生活に当てはめるのを難しく感じることがよくあります。聖書にはっきりとしたルールが書かれていないならどんな決定をしてもいい、と考える人もいます。逆に、ルールがないと何も決められない、という人もいます。例えば、コリントのクリスチャンはパウロに、偶像に捧げられた物を食べてよいかどうかを判断してほしいと頼んだようです。でもパウロは、一人一人に良心が与えられていて「選択の権利」がある、ということをよく理解していました。それでルールを作ることはありませんでした。聖書の教えに注目させ、自分の良心が痛まず、ほかの人にも罪を犯させないような決定をするように教えました。（コリー 8:4 偶像に捧げられた食物を食べることに関して、私たちは、偶像には何の意味もないことと、神はひとりしかいないことを知っています、7-9 とはいえ、全ての人がこの知識を持っているわけではありません。あるたちは、以前に偶像に関わっていたので、食物を食べる時にそれが偶像に捧げられた物であることが頭から離れず、弱い(*訓練されていない)良心が汚されます。8 本当のところ、食物によって神にいっそう近づけるわけではありません。食べないと何かを得損なうわけでも、食べると何かが得られるわけでもないのです。9 しかし、その選択の権利によって弱い人たちに過ちを犯させて(*弱い人たちの信仰を妨げて)しまうことがないよう、常に注意してください）このようにしてパウロは、コリントの兄弟姉妹がクリスチャンとして成長できるように助けました。ほかの人に頼ったり、ただルールを探したりするのではなく、一人一人が識別力を働かせて良い判断ができるようになってほしいと思っていたのです。

15. ヘブライ人のクリスチャンが成長できるよう助けるために、パウロはどんなことをしましたか。

15 パウロがヘブライ人のクリスチャンに宛てて書いた手紙から大切なことを学べます。一部の兄弟姉妹はクリスチャンとして成長するどころか、「固い食物ではなく、乳を必要とする状態に逆戻りして」いました。（ヘブ 5:12 皆さんはすでに教える人になっているべきなのに、神の神聖な宣言の基礎的な事柄を、もう一度初めから誰かに教えてもらう必要があります。そして、固い食物(*よくかんで食べる物)ではなく、乳を必要とする状態に逆戻りしています）会衆を通して徐々に明らかにされていた真理を受け入れることができませんでした。（格 4:18 しかし、正しい人たちの道は夜明けの光のようだ。真昼になるまで明るさを増していく）例えば、クリスチャンになったユダヤ人の多くは、キリストの犠牲によってモーセの律法が無効になってから30年ほどたった後も、律法に従う必要があると主張していました。（ロマ 10:4 キリストは律法の終着点であり、信仰を抱く人は皆、正しいと見なされるのです。テト 1:10 実際、反抗する人、無益な話をする人、欺く人、特に、割礼(*)に固執する人がたくさんいます）30年もあれば、この新しい理解に自分の考え方を合わせるのは難しくなかったはずです。パウロは、ヘブライ人のクリスチャンがさらに成長することを願っていました。それで、聖書の深い真理を理解できるように助けるために手紙を書きました。それは、エホバを崇拜するための新たな方法がどれほど優れているかを理解し、ユダヤ人に反対されても勇気を持って伝道を続ける助けになったことでしょう。（ヘブ 10:19-23 従って、兄弟たち、私たちはイエスの血により、確信を持って(*大胆に)、聖なる場所に入る道を歩む(*使う)ことができます。20 その道は、イエスが自分の肉体という幕を通じて私たちのために開いて(d*信じて)くださった、新しい生きた道(*命に至る新しい道)です。21 そして私たちには、神の家を治める偉大な祭司がいます。ですから、22 誠実な心と搖るぎない信仰を持って神に近づきましょう。私たちの心は血を振り掛けられて、汚れた良心から清められ、体は清い水で洗われました。23 私たちの希望をしっかり表明し(*人々に伝え続け)、ふらつかないようにしましょう。約束してくださったのは信頼できる方だからです）

自己過信に注意する

16. クリスチャンとして十分に成長することに加え、どんなことに気を付ける必要がありますか。

16 私たちはクリスチャンとして十分に成長するよう努力するだけでなく、逆戻りしないようにも気を付ける必要があります。その中には自己過信を避けることも含まれます。（コリ一 10:12 それで、立っていると思う人は、倒れることがないように気を付けてください）自分が成長し続けているか「いつも確かめ」ることは大切です。（コリ二 13:5 自分がクリスチャンの信条の通りに生きているかどうか、いつも確かめてください。自分がどんな人かをいつも調べてください。皆さん、イエス・キリストと結ばれていることが分かっていないのですか。もちろん、皆さんが退けられていなければのことですが）

17. パウロがコロサイの会衆に宛てた手紙から、クリスチャンとして子供に逆戻りしないように努力することの大切さがどのように分かりますか。

17 コロサイのクリスチャンに宛てた手紙の中でも、パウロはクリスチャンとして大人でいることの大切さを教えました。パウロは、十分に成長していたコロサイの兄弟姉妹に向けて、世の中の考え方へ影響されないよう警告しました。（コロ 2:6-10 皆さんは主であるキリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストと結ばれて歩み続けてください。7 教えられた通り、キリストに根を下ろし、自分をキリストの上に建て、搖るぎない信仰を持ち、感謝にあふれましょう。8 哲学や、中身のない欺きにより、誰かに捕らわれてしまうことがないよう気を付けてください。そうしたものは人間の伝統や世の理念(*基礎的な事柄)に基づいており、キリストを源とするものではありません。9 キリストには、神の性質が完全に備わっているからです。10 それで皆さん、キリストによって満たされています。キリストは全ての政府と権威の頭です）また、コロサイの会衆のことをよく知っていたと思われるエパラスも、兄弟姉妹が「最終的に欠けたところがない者となり、……しっかり立てるよう」いつも祈っていました。（コロ 4:12 キリスト・イエスの奴隸で、皆さんの所から来たエパラスが、よろしくと言っています。エパラスは、皆さんが最終的に欠けたところがない者となり、神の意志全てを確信してしっかり立てるよう、いつも熱烈に祈っています）パウロもエパラスも、“子供”に逆戻りしないようにするためにはエホバに助けを求め、自分でも努力する必要があるということをよく理解していました。コロサイの兄弟姉妹がどんな問題を経験するとしても、クリスチャンとして成長した状態から逆戻りしてほしくない、と思っていたのです。

18. クリスチャンとして十分に成長した人でもどんなことが起き得ますか。（写真も参照。）

18 パウロは、ヘブライ人のクリスチャンへの手紙の中で、クリスチャンとして十分に成長した人でも、エホバから完全に見放されてしまうことがある、と警告しました。それは、悔い改めることもなく、エホバからの許しを受け入れようともしないほど頑固になってしまった場合です。ヘブライ人のクリスチャンたちは、そこまでエホバから離れてはいませんでした。（ヘブ 6:4-9 次のような人たちもいます。一度啓発を受け、天からの無償の贈り物を味わい(*経験し)、聖なる力を与えられ、5 神の良い言葉とこれから来る体制(*時代)の力を味わいながら、6 それでも離れ去った人たちです。そういう人たちを再び悔い改めに導くことは不可能です。彼らは神の子を自分たちでもう一度杭にくぎ付けにし、さらし者にしているからです。7 地面は、たびたび降る雨を吸い込み、耕す人々にとって良い作物を生み出すとき、神から祝福を受けます。8 しかし、いばらやアザミを生み出すなら、見捨てられ、やがて災いを被り、最終的には焼かれてしまいます。9 と

はいえ、私たちはこのように語ってはいても、愛する皆さんはもっと良い状態にあって救いに至る、ということを確信しています) 現在集会や奉仕をお休みしている人や、排斥されている人たちについてはどうでしょうか。謙虚に悔い改めるなら、エホバから完全に見放されることはあります。しかし、エホバのもとに戻ってくるためには、エホバからの助けを受け入れる必要があります。 (エゼ 34:15, 16) 主権者である主エホバはこう宣言する。「私は自ら自分の羊を養い、横たわらせる。16 いなくなつた羊を捜し、はぐれた羊を連れ戻し、けがをした羊に包帯をし、弱い羊を力づける。しかし、肥えた羊と強い羊を滅ぼし尽くす。私は彼らに処罰を食らわせる」) 長老たちは、そのような人たちがエホバとの絆を取り戻せるように、経験ある兄弟姉妹からの助けを受けられるよう取り計らうこともあります。



エホバは、ご自分との絆を取り戻せるように助けてくれる。(18節を参照。)

19. どんなことを目標にできますか。

19 クリスチャンとして成長することに今取り組んでいるなら、その目標を必ず達成することができます。これからも聖書の真理を学び、エホバと同じ考え方ができるように努力していきましょう。そして、クリスチャンとしてすでに成長している人も、エホバとの強い絆を保つことを決意しましょう。

どのように答えますか

1. クリスチャンとして十分に成長するとはどういうことですか。

- ・S03 赤ちゃんが大人になるまで成長を続けるのと同じように、私たちもクリスチャンとして成長していく必要がある。この成長に終わりはありません。
- ・S04 成長したクリスチャンは、より好みをしたりせず、エホバが求めていることを全てその通りに行う。たとえ失敗することもあっても、毎日の生活の中でエホバに喜ばれる考え方や行動ができるようにベストを尽くし、新しい人格を身に着け、エホバと同じような考え方をするように努力を続ける。
- ・S05 一方、十分に成長していないクリスチャンは容易に「欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたり」、陰謀論を広める人や背教者にだまされたりする。また、嫉妬したり、争いを起こしたり、すぐに腹を立てたり、誘惑に負けたりしてしまうこともある。

2. どうすればクリスチャンとして成長できますか。

- ・S10 クリスチャンとして大人になるためには、**そうなりたい**という気持ちをまず育てる必要が
あります。「経験のなさを好む」人は、クリスチャンとして子供のままでいる方がいいと考え、
成長しようとしている。クリスチャンとして大人になることを**目指して「行動するための意欲と力**
の両方を」求めてエホバに祈ることができる。
- ・S11 会衆の牧者、また教える人に助けてもらうことによって「十分に成長した人となり、キリ
ストの背丈に達する」ことができる。また、エホバの聖なる力の助けを得るなら、「キリストと
同じ考え方」ができる。4福音書から、人間として生きたイエスの考え方や話し方、行動につい
て学び、その手本に倣うなら、大人のクリスチャンになれる。
- ・S13 初歩の教理だけでなく、「固い食物」を取り入れるように努力する。エホバのおきてだけ
でなく、聖書のさまざまな記述を学び、じっくり考え、自分の生活に当てはめることが大切。そ
のようにしてエホバの気持ちや考え方を理解するなら、エホバに喜ばれる決定を下せるようにな
る。

3. 自己過信に注意すべきなのはどうしてですか。

- ・S16 私たちはクリスチャンとして十分に成長するよう努力するだけでなく、逆戻りしないよう
にも気を付ける必要があるが、その中には自己過信を避けることも含まれているので。
- ・S17 "子供"に逆戻りしないようにするためにはエホバに助けを求め、自分でも努力する必要が
ある。
- ・S18 クリスチャンとして十分に成長した人でも、悔い改めることもなく、エホバからの許しを
受け入れようともしないほど頑固になってしまった場合には、エホバから完全に見放されてしま
う危険がある。

65番の歌 進歩し続けよう

△ヘブライ語聖書に「十分に成長した」とか「十分に成長していない」といった表現は出てきませんが、それと同じ考えを伝える
ものもあります。例えば、「格言の書」では、若くて経験のない人と賢くて理解力のある人が対比されています。（格 1:4, 5 経
験のない人を聰明にし、若者に知識と思考力を与えるためのもの。5 賢い人は聞いてさらに教えを受け、理解力のある人は的確
な導き(*巧みな指揮)を得る）

△jw.org か JW Library®で「間違った情報に気を付ける」という記事を参照。（ライブラリー>シリーズ記事>ほかのトピック）

△この号の「調べてみよう」を参照。

△写真や挿絵: 兄弟が聖書の教えをよく調べて、エホバに喜ばれるものを選んでいる。

△（ヘブ 6:1）それで、私たちはキリストに関する初歩の教理より先に進んだのですから、十分に
成長するように努力しましょう。基礎的な教えに逆戻りしてはなりません。すなわち、むなしい
*行いを悔い改めること、神への信仰、

直訳、「再び土台を据えては」。